

科目:研究研修費

	年 月 日	支 出 金 額 (円)	備 考 (内 容)
①	4月22日	13,380	市町村アカデミー (市町村議会議員特別セミナー)
②	5月16日	2,780	自治体議員政策情報センター (第45回地方✕国 政策研究会)
③	10月29日	22,700	自治体議会政策学会 (2024年第24期自治政策講座in東京2)
④	12月5日	14,406	親子探検ツアー ユーストークカフェ開催費用
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
	合 計	53,266	

視察・研修届出書

令和 6 年 4 月 1 日

寒川町議会議長

様

会派名又は議員名 フォーラム寒川

(柳下 雅子)

柳田 遊

印

次のとおり、会派(議員)視察・研修を計画しましたので届け出ます。

年 月 日	2024年 4月 22日、23日
視察先・内容	市町村アカデミー(市町村議会議員特別セミナー)① ・演題「地方創生へのパッションと実践」 ・議会デジタル化の必要性 ・異常気象がもたらす景観と脱炭素社会の実現に向けて ・臨海に学ぶ災害対応と自治体防災
行 程	寒川駅 ^{JR} - 東京 - 幕張本郷駅 ^{JR} @ 1690円 @ 1690×2 = 3380円
参 加 者	柳下 雅子
視察・研修の目的	地方自治体が直面している様々な重要課題を最新の 情報をもとに、現状・課題、解決策について幅広く学ぶ。



市町村議会議員特別セミナー

当研修所では、毎年度、市区町村議会の議員の皆様を対象に、自治体が直面している重要課題や時局の話題を取り上げる宿泊型特別セミナーを開催しています。

今回は、令和6年4月22日から23日の2日間、最新の情報をもとにそれぞれの分野で活躍されている講師をお招きし、地方自治体の現状・課題・解決策について幅広く学びます。多くの議員の皆様のご参加を、お待ちしております。

日程等

日程

令和6年4月22日(月)・23日(火) <2日間>

場所

市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)
千葉市美浜区浜田1-1 (JR幕張本郷駅・海浜幕張駅よりバス10分)

研修内容

4月
22日
(月)

11:00～ 入寮受付

13:00～ 開講式・オリエンテーション

13:30～15:00

講演1

地方創生へのパッションと実践

株式会社47partners代表取締役 横尾 隆義 氏

15:15～16:45

講演2

議会デジタル化の必要性

～ChatGPTなどの生成系AIとどう向き合うか～

東北大学大学院情報科学研究科准教授 河村 和徳 氏

17:30～ 情報・意見交換会(夕食)

4月
23日
(火)

9:00～10:30

講演3

異常気象がもたらす影響と

脱炭素社会の実現に向けて

気象予報士、防災士、お天気キャスター 晴山 紋音 氏

10:45～12:15

講演4

過去に学ぶ災害対応と自治体防災

熊本県危機管理防災特別顧問、熊本大学客員教授 有浦 隆 氏

12:15～12:20 閉講のことば

政 務 活 動 記 録 簿

会派(議員) フォーラム寒川(柳下雅子)

経理責任者

柳田 遊

支 出 科 目	研究研修費 ・ 調査費
年 月 日	2024年 4月22日(月). 4月23日(火)
視察先・内容	市町村アカデミー (市町村議会議員特別セミナー①) の演題 地方創生へのパソコンと実践 議会デジタル化の必要性 異常気象がもたらす影響と脱炭素社会の実現に向けた 過去に学ぶ災害対策と巨額体防災
参 加 者	柳下雅子
政務活動の結果	

上記活動に要した経費

	領 収 証 の 有 無		金 額	備 考
資 料 購 入 費	有	無	円	
出席者負担金・会費	(有)	無	10,000 円	
そ の 他 (入館料など)	有	無	円	
相手先手土産代	有	無	円	
旅 費 ・ 交 通 費	有	(無)	3,380 円	※内訳(経路と運賃) は別紙行程表のとおり
自動車借上料(タクシー代)	有	無	円	
宿 泊 費	有	無	円	
総 合 計	13,380 円			

整理番号
領収書発行日

32
令和6年4月22日

領 収 書

フォーラム寒川 様

¥10,000※

但し、研修負担金として。

研修科目 : 市町村議会議員特別セミナー
受講者氏名 : 柳下 雅子

入金日 : 令和6年4月15日

入金方法 : 銀行振込

千葉県美浜区浜田 1 - 1
公益財団法人 全国市町村研修財団
市町村職員中央研修
分任出納役 柴田

寒川から幕張本郷の乗換案内 - ジョルダン

経路 2 早 楽

2024/04/22(月)				
09:20発 → 11:16着 総額 1,690円 (IC 1,694円)				
所要時間 1時間56分 乗換 3回 距離 93.3km CO ₂ 1.0kg / 自動車比 81.0% 削減 ①				

経路		乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
○ 寒川	09:20-09:28 8分	田 JR 相模線(茅ヶ崎行)	前・やや後	1,690円	5.1km
	乗換3分 待ち1分	○ 茅ヶ崎	5番線発		
○ 東京	09:32-10:28 56分	田 JR 東海道本線(東日本) (宇都宮行)	中後	↓ 普通車	58.6km
	乗換8分 待ち0分	○ 東京	7番線着 総武4番線 発		
○ 津田沼	10:36-11:04 28分	田 JR 総武線快速(津田沼 行)	2・4・6号車	↓ 普通車	26.7km
	乗換3分 待ち6分	○ 津田沼	2番線着 4番線発		
○ 幕張本郷	11:13-11:16 3分	田 JR 中央・総武線各停(千 葉行)	4・7号車	↓	2.9km
		○ 幕張本郷	2番線着		

視察・研修報告書

令和6年5月1日

寒川町議会議長

様

会派名又は議員名

フォーラム寒川

(柳下 雅子)

次のとおり、会派(議員)視察・研修に参加したので報告します。

柳田 雄

年 月 日	2024年4月22日(月) 23日(火)
視察先・内容	市町村自治アカデミー(市町村議会議員 特別セミナー①) 演題 地方創生へのパブリックと実践、自治会デジタル化の必要と 災害対策の重要性と自治会と自治体の関係について 自治会と自治体の関係と自治体防災
行 程	寒川駅 → 東京 → 千葉 → 本郷駅 1690×2 3380円
参 加 者	柳下 雅子
視察・研修の目的	昨今多発する自然災害に迅速はたし方(備え)し 後日 復興までと考慮した自治体防災等について学ぶ ため研修。
視察・研修事項の 概要及び所感	* 資料・写真等も添付 熊本地震を体験した 熊本県危機管理防災特別顧問の 有崎隆氏の熊本地震時の県庁の対応が印象的でした。 (資料4添付) 自衛隊員であった有崎氏を知らず 危機管理の特別顧問にして背景がよく理解できました。 想定している南海トラフと他人事ではなく自然災害の 被害の大小ではなく自分事として準備をいかけておくこと 被害の最小化につながることを学びました。

「地方創生へのパッションと実践」

2024年4月22日

株式会社47partners

代表取締役 横尾 隆義

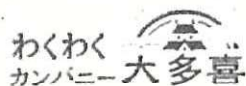


「地方創生へのパッションと実践」

自己紹介 (活動紹介)

事業活動

地域DMO



農業生産法人



定山溪ファーム



- ・地域再生、観光再生事業の企画及び支援
- ・空き公共施設、古民家活用等企画及び支援
- ・地域映像コンテンツ情報発信・制作
- ・第三セクター、DMOなど事業再生
- ・移住定住施策支援

地域活性化イベント
& マーケティング



東京ガールズコレクション

経営伴走
専門家派遣



地域人財基盤
JAPAN HUMAN RESOURCES PLATFORM

地域学生
奨学金支援



公益財団法人
地域育成財団

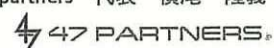
経済界活動



公益社団法人 経済同友会
Japan Association of Corporate Executives

幹事・地域共創委員会副委員長・財務委員・行政改革委員・観光再生委員・人財育成委員

2024年4月 株式会社47partners 代表 横尾 隆義



視察・研修届出書

令和 6 年 5 月 6 日

寒川町議会議長 様

会派名又は議員名 フォーラム 寒川
(柳下 雅子) 柳田 遊

次のとおり、会派(議員)視察・研修を計画しましたので届け出ます。

年 月 日	2024年5月16日(木)
視察先・内容	自治体議員政策情報センター 第45回 地方×国政策研究会 テーマ) 国の補正給付指示が重なる地方自治法改正 2) 能登半島地震の詳細分析と自治体での支援
行 程	別紙のとおり
参 加 者	柳下 雅子
視察・研修の目的	地方自治法改正で自治体と国のあり方がどう変わるのか、自治体の対応策について学習する。ことと能登半島地震の教訓と町の防災対策に生かすため。

寒川→国会議事堂前 2024年05月16日(木)09:30到着

07:37発→09:12着 1時間35分(乗車1時間27分)



乗換：3回

56.1km

現金優先：890円 定期券 通勤：1か月 28,770円 / 3か月 82,010円 / 6か月 151,810円

07:37	発	寒川	乗車位置：[4両] 中 後
5駅		J R相模線 橋本行 [発] 2番線 → [着] 情報なし	200円
08:01着 08:05発		厚木	
		小田急小田原線 新宿行 [発] 2番線 → [着] 4番線	480円
08:07着 08:09発		海老名(相鉄・小田急)	乗車位置：[10両] 前 中 後
9駅		小田急小田原線急行 新宿行 [発] 3番線 → [着] 4番線	
08:58着 09:00発		代々木上原	
6駅		東京メトロ千代田線 我孫子行 [発] 3番線 → [着] 4番線	210円
09:12	着	国会議事堂前	



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

第45回 地方×国 政策研究会

2024年5月16日(木)

10時～16時(受付9時30分開始)

場所：衆議院第二議員会館第8会議室

(東京都千代田区永田町2-1-2 各線国会議事堂前など)

+オンライン (Zoom)開催



Zoomあるいは現場への参加は左のQRコードを読み込むか、下記のURLよりご登録ください。

登録者に参加アドレス送付します。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_5kzARDjxSyuzl9heu3624Q



国の補充的指示が追加される地方自治法改正(案)と 能登半島地震の詳細分析と自治体でできる支援を研究します

地方自治法改正が閣議決定され、5月に国会での議論が予定されています。緊急時において国の補充的指示の条項が新設されるなど問題点が多く指摘されています。全国知事会、日本弁護士会も懸念を表明しているこの課題について国の職員の説明を受け、議論していきます。

1月に発生した能登半島地震は詳細に分析すると様々な今までの地震との違いが浮き彫りになってきます。また自治体でこうした災害への備えをどのように行うかの実践報告を大阪府吹田市職員からいただきます。

スケジュール予定(大きく変更の可能性があります) *10時スタート 開会挨拶 / 趣旨説明

テーマ1 国の補充的指示が追加される地方自治法改正(案)

10:10～10:50 地方自治法改正案の解説(総務省職員の説明、質疑応答)

10:50～12:00 市民自治を基本とした地方自治体と国のあり方(仮称)(講演と質疑応答)

センター手配講師で地方自治体と国のあり方について示唆をいただきます

テーマ2 能登半島地震の詳細分析と自治体でできる支援

13:00～14:30 能登半島地震の詳細分析 室崎益輝さん(神戸大学名誉教授)※ZOOM講演

内閣府中央防災会議専門委員会委員なども歴任した地震・災害の専門家から見た能登半島地震の詳細分析を通じて他の震災とは違う状況をお話いただきます。

14:40～15:40 被災地職員派遣の自治体事例 大阪府吹田市職員 ※ZOOM講演

全国でも数少ない総務省災害マネジメント総括支援員として配置されている大阪府吹田市の職員より能登半島震災派遣の現状、そして支援員の意義と活動をお話いただきます。

こうした災害対策の職員を配置し、派遣で実績を積みながら緊急時に備える重要性を確認します。

15:40～16:00 まとめ 閉会の挨拶

政 務 活 動 記 録 簿

会派(議員) 75-36 栗川

経理責任者

柳田 遊

支 出 科 目	研究研修費 ・ 調査費
年 月 日	2024年5月16日
視察先・内容	自治体議員政策情報セミナー 第45回 地方×国政策研究会 テーマ 国の補正の指示に追われる地方自治体改正 2) 能登半島地震の被害分析と自治体での支援
参 加 者	柳下 雅子
政務活動の結果	

上記活動に要した経費

	領 収 証 の 有 無		金 額	備 考
資 料 購 入 費	有	無	円	
出席者負担金・会費	(有)	無	1,000 円	
そ の 他 (入館料など)	有	無	円	
相手先手土産代	有	無	円	
旅 費 ・ 交 通 費	有	(無)	1,780 円	※内訳(経路と運賃) は別紙行程表のとおり
自動車借上料(タクシー代)	有	無	円	
宿 泊 費	有	無	円	
総 合 計				2,780 円

寒川→国会議事堂前 2024年05月16日(木)09:30到着

07:37発→09:12着 1時間35分(乗車1時間27分)



乗換: 3回

56.1km

現金優先: 890円

定期券 通勤: 1か月 28,770円 / 3か月 82,010円 / 6か月 151,810円

07:37	発	寒川	乗車位置: [4両] 中 後
5駅		J R相模線 橋本行 [発] 2番線 → [着] 情報なし	200円
08:01着 08:05発		厚木	
		小田急小田原線 新宿行 [発] 2番線 → [着] 4番線	480円
08:07着 08:09発		海老名(相鉄・小田急)	乗車位置: [10両] 前 中 後
9駅		小田急小田原線急行 新宿行 [発] 3番線 → [着] 4番線	
08:58着 09:00発		代々木上原	
6駅		東京メトロ千代田線 我孫子行 [発] 3番線 → [着] 4番線	210円
09:12	着	国会議事堂前	



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

地方×国 政策研究会

領 収 証

フォーラム岡山

(やました 雅子)様

1,000 円

但し 5 月 16 日 地方×国政策研究会参加費として

2024 年 5 月 16 日

自治体議員政策情報センター 虹と

〒700-0971 岡山市北区野田 5-8-11 かつら

TEL 086-244-7723 FAX 086-244-

視察・研修報告書

令和6年6月20日

寒川町議会議長

様

会派名又は議員名

フォーラム 寒川

柳田 遊

(柳下雅子)

次のとおり、会派(議員)視察・研修に参加したので報告します。

年 月 日	2024年5月16日(木) 0
視察先・内容	第45回 地方X国政策研究会 0 地方自治法改正と 能登半島地震の詳細分析と 自治体でできる支援について。
行 程	別紙のとおり * 行程表添付
参 加 者	柳下雅子 0
視察・研修の目的	地方自治法の一部改正する法律案の概要を知ることと 0 能登半島地震の詳細分析と地域防災計画に よかすこと。
* 資料・写真等も添付 緊急 緊急時において補充的指示の条項の新設の 必要性について出席した総務省職員からも内得である答へに 関心があったこと、市民自治を基本とした地方自治体からは 憲法に基づく地方自治保障のパラダイムに反すること で地方分権改革の理念及び地方自治法の趣旨・目的に 逆行する措置が遺憾であった。	

視察・研修事項の
概要及び所感

寒川→国会議事堂前 2024年05月16日(木)09:30到着

07:37発→09:12着 1時間35分(乗車1時間27分)



乗換: 3回

56.1km

現金優先: 890円

定期券 通勤: 1か月 28,770円 / 3か月 82,010円 / 6か月 151,810円

07:37	発	寒川	乗車位置: [4両] 中 後
5駅		J R相模線 橋本行 [発] 2番線 → [着] 情報なし	200円
08:01着 08:05発		厚木	
		小田急小田原線 新宿行 [発] 2番線 → [着] 4番線	480円
08:07着 08:09発		海老名(相鉄・小田急)	乗車位置: [10両] 前 中 後
9駅		小田急小田原線急行 新宿行 [発] 3番線 → [着] 4番線	
08:58着 09:00発		代々木上原	
6駅		東京メトロ千代田線 我孫子行 [発] 3番線 → [着] 4番線	210円
09:12	着	国会議事堂前	



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

第45回 5月16日 地方×国政策研究会

衆議院第二議員会館第8会議室

＊10時スタート 開会挨拶 / 趣旨説明

テーマ1 国の補充的指示が追加される地方自治法改正（案）

10:10～10:50 地方自治法改正案の解説（総務省職員の説明、質疑応答）

松田 健司（マツダ ケンジ）さん 自治行政局行政課 理事官

酒井 哲也（サカイ テツヤ）さん 自治行政局市町村課長補佐

松林 直邦（マツバヤシ ナオクニ）さん

自治行政局住民制度課デジタル基盤推進室 課長補佐

片山 良太（カタヤマ リョウタ）さん 自治行政局公務員部公務員課 理事官

10:50～12:00 市民自治を基本とした地方自治体と国のあり方

白藤博行さん（専修大学法学部名誉教授・弁護士）

（講演と質疑応答）

テーマ2 能登半島地震の詳細分析と自治体でできる支援

13:00～14:30 能登半島地震の詳細分析

室崎益輝さん（神戸大学名誉教授）※ZOOM講演

14:30～15:20 被災地職員派遣の自治体事例 ※ZOOM講演

吹田市危機管理室 室長 有吉恭子さん

参事 柴野 将行さん

15:20～15:40 原発と震災 能登半島震災の現場から

北野進さん（元石川県珠洲市議） ※ZOOM講演

15:40～16:00 まとめ 閉会の挨拶

主催 自治体議員政策情報センター・虹とみどり

〒700-0971 岡山市北区野田5-8-11 かつらぎ野田ビル2F

TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724

視察・研修届出書

令和6年10月11日

寒川町議会議長 様

会派名又は議員名

フォーラム寒川(柳下雅子) 柳田 健

次のとおり、会派(議員)視察・研修を計画しましたので届け出ます。

年 月 日	2024年10月29日(火)
視察先・内容	自治体議会政策学会 テマはこれからの社会 内容 ・これからの見える学校づくり ・自治を担う条例づくり
行 程	別紙のとおり * 行程表添付 (JR新橋 - 有明町) 2700円 (JR新橋 - 永田町駅) 1350円
参 加 者	柳下 雅子
視察・研修の目的	不登校児が増えなか、これからの学校づくり エリア小学校の校長は車に乗って とんが力 者であるから 制 子とわてるに 必要なこと。条例定規の行 便、拡充に 向け? これから大町なのは地域実態に根ざした 政策であることと考える。

第24期 自治政策講座 in 東京Ⅱ

誰も取り残さない社会
未来への自治体政策ZOOM参加
できます！日時：2024年10月29日(火)・30日(水) 場所：都道府県会館(東京都千代田区)かオンライン(ZOOM)
お問合せ：自治体議会政策学会事務局 TEL 03-5227-1827

昨年、20歳代以下の若年層の自殺者数が前年から大幅増になった。若い世代の死因の1位が自殺という日本社会の特有な事態は続いている。「こども真ん中社会」の実現を目指すというが、子どもの心や人生は大切にされているだろうかとの疑問が残る。コロナ禍に対応する中で、取り残された子どもや多くの人々がいた。今こそ、包摂政策の具体化が求められているのではないだろうか。

今回の講座は、誰も取り残さない包摂的な社会へ向け、様々な政策課題を「自治」を基礎にご講義いただきます。インクルーシブ教育の実践、自治体の条例づくり、地域助け合いから生まれた地域通貨、進む自治体のDXを分からないままにしない—など自治体議員に問われる課題について第一線の講師が実践に裏付けられた新たな視点と情報を提供します。ご参加お待ちしております。

10月29日(火) 13:00~16:20

第1講義
13:00~14:30

誰もが通える学校づくり —地域も変わる教育とは

木村 泰子(大阪市立大空小学校 初代校長)

公教育の理念とは今の多様な個性を持つすべての子どもの学習権を保障すること。学校は子どもの命を守る大きな使命をもっている。子どもが安心して学校に行ける、自分らしく学べる居場所を作ることが求められている。勉強ができる・できないで子どもに分断をもたらすことなく、自分で考えて自分で決めて自分で実行できる学校づくりが大切となる。講師が初代校長を務めた大阪市立大空小学校での実践から、公立校の生きた学びについてお話しいただく。

第2講義
14:50~16:20

自治を担う条例づくり —立法分権時代の議会へ

磯崎 初仁(中央大学法学部 教授)

第1次分権改革(2000年施行)から25年目、人口減少、コロナ禍などもあって地方分権の機運が低下し、集権化が強まっている。これまでの分権改革は、法令の解釈運用の権限(行政権)を拡充する「行政分権」であったが、今後は制度政策をつくる権限(立法権)を拡充する「立法分権」に切り替えて、改革を進める必要がある。そのため、国に立法権(条例制定権)の拡充を求めるとともに、地方議会が条例制定権を行使して地域課題を解決し、実績を広げることが重要だ。この講義では、条例制定権のポイントを説明したうえで、議会議員がこれをどう使いこなすか検討する。

10月30日(水) 10:00~14:30

第3講義
10:00~11:30

地域経済の活性と地域通貨 —現状と課題

泉 留維(専修大学経済学部 教授)

1999年初頭には数えるほどしかなかった地域通貨が、2021年12月現在での延べ立ち上げ数が650以上となっている。開始して4年以内に約半数が地域通貨を中止し、10年以上稼働した地域通貨は全体の21%に過ぎない。地域通貨の研究を重ねてきた講師が、その黎明期から発展期までの経過と2020年以降の展望について、社会改革の可能性や、継続性、デジタル化などを含めて解説する。また地域の経済活動として、地域社会の繋がりを強める発行形態やその可能性と自治体の役割・課題を伺う。

第4講義
13:00~14:30

民主主義と自治を深化させるための自治体DXとは —先進的事例や議論のポイント

内田 聖子(NPO法人アジア太平洋資料センター 共同代表)

デジタル化は民主主義の深化に役立っているのか。巨大IT企業がもたらす便利さと快適さの宣伝により、ITソフトやサービスの購入は拡大している。アプリ、SNSによる交流など生活に必要不可欠なインフラとして自治体も多用している。そして生成AIは市民社会になにをもたらすのか。日本のデジタル社会形成の方針として政府が決定した「デジタル社会を形成するための10の基本原則、その中の①オープン・透明、②公平・倫理、③安全・安心は自治体においてどのように担保できるのかなどを解説する。また、各地の取り組みの現状や提言を紹介し議論の方向を示す。

オンラインでも講座に参加可能、質疑もできます
▼両日参加の方には修了証を発行前回オンライン配信講座の
ダイジェストを視聴↓

ご記入後、**FAX:03-5227-1828** までご返信ください。

2024 年 第 24 期 自治政策講座 in 東京2

◇ 受 講 確 認 票 ◇

自治体議会政策学会

〒112-00013 東京都文京区音羽 1-5-8 イマジン第2オフィス

TEL: 03-5227-1827・FAX:03-5227-1828

貴方様の受講希望内容は次の通りです。

ご確認いただき、項目毎の□に✓をご記入の上、FAX・郵送にてご返信下さい。

□1. 日程

第1日目	10月29日(火)	会場
第2日目	10月30日(水)	参加しない

□2. 受講料(三井住友銀行 麹町支店 普通1497025 自治体議会政策学会)

¥20,000 円[10月29日]

□3. お名前、ご連絡先のご確認

やぎした まさこ

お名前:柳下 雅子 様 / 所属名:寒川町議会

ご連絡先:〒253-0112 神奈川県高座郡寒川町中瀬31-27

TEL: 0467-75-3721 / FAX:0467-75-3721

E-mail:nakazenoie@ybb.ne.jp

□4. 領収書について

☆領収書の御宛名を下線部にお書きください。(当日、受付にてお渡し致します。)

御宛名 フォーラム寒川

注:ご指定のない場合は、御宛名に議会名とお名前を記載した領収書となります。

団体でお申込みの場合、個別に領収書が必要な方はその旨をご記載下さい。

ご指定がない場合は、団体で1枚となります。

□5. 連絡事項、訂正箇所などをご記入ください

例:日程変更・キャンセル・団体でまとめてお振込の際の口座名義など

□6. キャンセルについて

キャンセルが発生した場合、左記日程のキャンセル日に×をしFAX等にてお知らせ下さい。

ご連絡がない場合、キャンセル料が発生します。

□7. 団体でのお申込みについて

1) 団体申込みの場合、受講確認票は訂正がなければ代表の方1枚のご返信で構いません。

訂正がある場合は、代表者と訂正される方の分をお送り下さい。

個別に領収書が必要な方はその旨を 5. にご記載下さい。

2) 領収書の個別発行のご指定がない場合は、団体で1枚となります。

3) まとめて入金される場合は、振込人名義を 5. にご記載ください。

ご記入後、**FAX:03-5227-1828** までFAXもしくは写メで

copa@copa-web.net までご返信ください。QRコードからフォーム

へアクセスしてもご回答いただけます。



政 務 活 動 記 録 簿

会派(議員) フォーラム 寒川 (柳下雅子) 経理責任者 柳田 遊

支 出 科 目	研究研修費 ・ 調査費
年 月 日	2024年10月29日(火)
視察先・内容	自治体議会政策学会 誰れも取り残さない社会、未来への自治体政策 ・誰れもが通える学校づくり、地域が変わる ・学校づくり ・生涯学習時代の自治体議会へ(自治体負担条件あり)
参 加 者	柳下雅子
政務活動の結果	※別紙 報告書のとおり

上記活動に要した経費

	領 収 証 の 有 無		金 額	備 考
	有	無		
資 料 購 入 費	有	無	円	
出席者負担金・会費	(有)	無	20000 円	
そ の 他 (入 館 料 な ど)	有	無	円	
相 手 先 手 土 産 代	有	無	円	
旅 費 ・ 交 通 費	有	(無)	2,700 円	※内訳(経路と運賃) は別紙行程表のとおり
自動車借上料(タクシー代)	有	無	円	
宿 泊 費	有	無	円	
総 合 計				22,700 円

寒川→有楽町→永田町 2024年10月29日(火)12:10到着

10:33発→12:10着 1時間37分(乗車1時間3分)



乗換: 3回

64.8km

現金優先: 1,350円 定期券 通勤: 1か月 36,990円 / 3か月 105,440円 / 6か月 199,770円

10:33	発	寒川	乗車位置: [4両] 前 中
3駅		J R相模線 茅ヶ崎行 [発] 1番線 → [着] 1・2番線	1,170円
10:41着 10:56発		茅ヶ崎	乗車位置: [15両] 前 中 後
8駅		J R東海道本線(上野東京ライン) 小金井行 [発] 5番線 → [着] 2番線	
11:44着 11:49発		新橋	乗車位置: [11両] 前
		J R山手線内回り 東京・上野方面 [発] 5番線 → [着] 2番線	
11:52着 12:06発		有楽町	
2駅		東京メトロ有楽町線 小手指行 [発] 2番線 → [着] 2番線	180円
12:10	着	永田町	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

No.102930667

領収証

発行日 2024 年 10 月 29 日

フォーラム寒川 柳下雅子様

¥20,000—

但し、第24期自治政策講座 in 東京Ⅱ受講料として
上記正に領収いたしました。

自
〒
東
TEL
FAX 03-5227-1828

視察・研修報告書

令和6年11月11日

寒川町議会議長

様

会派名又は議員名

フォーラム寒川
柳田

(柳下雅子)

次のとおり、会派(議員)視察・研修に参加したので報告します。

年 月 日	2024年10月29日(火)
視察先・内容	自治体議会政策学会第24期自治政策講座in 東京 誰れも取り残さない社会 未来への自治体政策を 学ぶ。
行 程	別紙のとおり * 行程表添付 寒川駅-東京- ^{永田町} (都道府県会館)
参 加 者	柳下雅子
視察・研修の目的	2016年トキエンタリー映画「みんなの学校」のその後、 生徒・児童の自殺者、不登校が増加する中、議員の 木村先生(元校長)は「校長の責任はたな一つ「すべての 子供の学習権を保障する学校をつくる。信念のもと 学校をつくる者」として「保護者」「サポーター」 となり、児童・生徒の成長を促すことにチームで取り組んで きた。その実例はとて由考へる講座内容でした。
視察・研修事項の 概要及び所感	正解のない問題と向き合い続けることの大切さのパート 大になること。決め手は自分。主体性と当事者意識が大切 大車かについて学ぶ。 分権改革30年の成果と問題点の総括は、法令の過剰 規制の緩和自治体の自主性・自律性は拡大していく。 人口減少時代には小はわしいのは法令と条例のベストミックスで対応。 多様な地域課題へ対応する自治体の役割と工夫が求められる。 従来の行政分権から今後の立法分権」というのが講師の苦言。 大変な事だと思いました。

寒川→有楽町→永田町 2024年10月29日(火)12:10到着

10:33発→12:10着 1時間37分(乗車1時間3分)



乗換：3回

64.8km

現金優先：1,350円 定期券 通勤：1か月 36,990円 / 3か月 105,440円 / 6か月 199,770円

10:33	発	寒川	乗車位置：[4両] 前 中
3駅		J R相模線 茅ヶ崎行 [発] 1番線 → [着] 1・2番線	1,170円
10:41着 10:56発		茅ヶ崎	乗車位置：[15両] 前 中 後
8駅		J R東海道本線(上野東京ライン) 小金井行 [発] 5番線 → [着] 2番線	
11:44着 11:49発		新橋	乗車位置：[11両] 前
		J R山手線内回り 東京・上野方面 [発] 5番線 → [着] 2番線	
11:52着 12:06発		有楽町	
2駅		東京メトロ有楽町線 小手指行 [発] 2番線 → [着] 2番線	180円
12:10	着	永田町	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

政 務 活 動 記 録 簿

会派(議員) フォーラム寒川

経理責任者 柳田 遊



支 出 科 目	研究研修費 ・ 調査費
年 月 日	8月8日、11月9日
視察先・内容	親子探検ツアー及びユーストークカフェ開催費用
参 加 者	柳田 遊、柳下雅子
政務活動の結果	

上記活動に要した経費

	領 収 証 の 有 無		金 額	備 考
資 料 購 入 費	有	無	0 円	
出席者負担金・会費	有	無	14,406 円	
そ の 他 (入 館 料 な ど)	有	無	0 円	
相 手 先 手 土 産 代	有	無	円	
旅 費 ・ 交 通 費	有	無	円	
自動車借上料(タクシー代)	有	無	円	
宿 泊 費	有	無	円	
総 合 計	14,406			円

領 収 書

フォーラム寒川 様

一金 14,406円也

ただし、親子探検ツアー及びユーストーク Café 開催費用として
上記のとおり領収いたしました。

令和6年12月5日

寒川町議会 議会改革推進委員会

委員長 吉田 悟郎

